

## 謝辞

本研究報告書をまとめるにあたり、今回の研究資金援助を頂いた日本学術振興会と、研究代表者と分担者が所属し、研究の場を与えて頂いた神奈川大学と広島大学に感謝したい。また、フィールド研究の採取においてご協力頂いた大山阿夫利神社と神奈川県に厚く謝意を表したい。

今回の報告書は、それぞれの研究者の主宰する研究室の学生の修論や卒論をもとに集大成したものである。特に、嶋原 亜土君、中山 槇子さん、永池 英佑君、富永 紗恵さん、小倉 一晃君、安仁屋 政宏君、杉本 寛君、古尾谷 悟君、阿部 将宜君、渡辺 裕美さん、黒岩 綾子さん、内田奈美さんの論文に負うところは大きい。また丹沢のデータは過去 20 年近く、神奈川大学井川研究室に所属し、今や社会の中堅として活躍している諸君の置きみやげによるものである。これまでサンプリング等を含めて研究に係わった全ての皆さんに謝意を表したい。

今回の報告書をまとめるに際しては、井川研究室秘書秋山優子さんと桜井研究室秘書井本清美さんにその事務作業の大半をお任せした。また、科研費による研究遂行時の会計実務においては神奈川大学と広島大学の事務の皆さんに適切かつ迅速に処理頂いた。最後に記さねばならないことは、神奈川大学の大河内 博助手（現早稲田大学助教授）と松本 潔特別助手には研究室の中核となって本研究の発展に尽くして頂いたことである。皆さんのご協力に厚く感謝したい。

この報告書が広く読まれ、酸性霧と森林衰退の分野の学問の発展において、役立つ書となることを念じてやまない。

2007 年 3 月 31 日

井川 学  
桜井 直樹